

むろふし ちひろ
室伏 千尋さん

JICA 海外協力隊 2017 年度 3 次隊

派遣国：ルワンダ 職種：理科教育

2021 年 10 月 17 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています



ハグであいさつ 心豊か

2018 年 1 月から 20 年 1 月まで、アフリカのルワンダへ理科教育の JICA 海外協力隊員として派遣された。理科の実験だけでなく英語や紙すき、ネイルアート等も教えていた。帰国して約 2 年が過ぎるが、思い出は今でも鮮明に記憶に残っている。

現地の村に住み始めて 1 週間もたつ頃には、学校の生徒や同僚だけでなく、近所の人たちからも「マホロ」と現地の名前では呼ばれるようになった。家から一歩出ると、子どもたちが肌の色が違う私を珍しがって駆け寄り、ハグであいさつをする。家から学校までたった徒歩 3 分の道のりで、たくさんの方が「おはよう！調子はどう？」「今日は何をするの？」などと話しかけてくれた。

学校に着くと、まずは同僚の先生全員と握手であいさつをする。「ご両親は元気？」と家族のことにも気を配ってくれた。水道が出ない家での不便な生活だったが、たくさんの方が家族のように接してくれて、楽しく充実した 2 年間を過ごすことができた。

帰国して最もショックを受けたのは、日本人たちの表情が暗いこと、そしてあいさつのない生活だ。27 年間当たり前に感じていたことに違和感を持つようになった。こんなに豊かなのに、こんなに恵まれているのに、なぜと…。

ルワンダでは物質的豊かさはなくとも、精神的な豊かさは感じられていたように思う。こんな体験から、私は田舎に移住することを決めた。また、心身ともに健康な人が増えてほしい、との思いから現在はヨガインストラクターとして活動している。コロナ禍でますます交流が減っているが、人とのつながりの大切さを忘れないようにしていきたい。



ルワンダにたくさん生えるバナナの木を使って

紙すきを体験する生徒